

2021年1月22日



一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

2020年12月 マンスリー レポート

集計企業数 55 社

①売上高・前年同月比

	全店			既存店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	71,178,476 万円	100.0%	104.2% (104.1%)	69,309,064 万円	103.2% (102.9%)
食 料 品	61,118,582 万円	85.9% (85.6%)	105.4% (104.9%)	59,603,522 万円	104.2% (103.5%)
農 産	8,557,920 万円	12.0% (12.5%)	103.4% (105.6%)	8,349,551 万円	102.2% (104.1%)
水 産	6,546,676 万円	9.2% (7.9%)	106.6% (105.2%)	6,378,939 万円	105.2% (103.6%)
畜 産	8,184,749 万円	11.5% (11.7%)	109.3% (106.7%)	7,975,718 万円	108.0% (105.1%)
惣 菜	7,041,159 万円	9.9% (9.9%)	102.6% (102.2%)	6,836,276 万円	101.1% (100.5%)
日配食品	13,273,054 万円	18.6% (19.2%)	105.6% (104.0%)	12,952,048 万円	104.4% (102.6%)
加工食品	17,515,024 万円	24.6% (24.4%)	105.2% (105.5%)	17,110,989 万円	104.1% (104.3%)
生活関連	4,419,275 万円	6.2% (6.2%)	104.0% (106.7%)	4,325,731 万円	103.5% (106.2%)
衣 料 品	1,583,265 万円	2.2% (2.5%)	89.7% (87.2%)	1,545,777 万円	90.3% (87.9%)
そ の 他	4,057,355 万円	5.7% (5.7%)	93.8% (97.4%)	3,834,034 万円	94.1% (97.9%)

② 数 値

全店総売上高	71,178,476 万円	店舗数	4,876 店舗
総売場面積	9,523,060.4 m ²	総従業員数	265,763 人

店舗平均月商	14,597.7 万円	平均客単価 (前年同月比)	2,270.8円 (108.3%)
月間m ² 売上(前月)	7.5 万円 (6.2万円)	平均売場面積	1,953.0 m ²
月間坪売上(前月)	24.7 万円 (20.4万円)	パート比率(前月)	77.3% (76.9%)

注) 総従業員数・・・パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 12月の天候概要について、北日本と西日本では気温が低かった。日本海側では、北陸地方を中心に記録的な大雪となった所があり、太平洋側では降水量は少なかった。沖縄・奄美では、日照時間はかなり少なく、降水量はかなり多くなった
- ・ 生鮮物の相場状況について、農産物では野菜が前月に続き安値で推移した。水産物については、卸売市場への入荷量がやや少ない上に価格もやや弱含みとなり、畜産物では国産の和牛と豚肉、鶏肉がともに高値となった。
- ・ 前年に比べ日曜、月曜日が1回少なく、水曜、木曜日が1回多い曜日回りであった
- ・ 新型コロナウイルス感染症は第3波が拡大し、11月下旬に政府が「勝負の3週間」と対策を呼びかけるも感染拡大はとめられず、月末にかけて感染者数は過去最多を更新。大阪府と旭川市では医療体制の逼迫により自衛隊の災害派遣が行われたほか、一部地域では外出自粛要請や時短要請の延長がされ、外国人の新規入国とG o T oトラベルは月末には一時停止となった
- ・ 客数減、客単価増、買上点数増が続いている

《 商品動向 》

○農産

- ・ 気温環境の影響により菌茸類を中心に鍋物商材が好調となった一方、レタスやトマトなどのサラダ商材は不調であった
- ・ ジャガイモ、玉ネギなどの土物類が好調であった
- ・ 国産果実ではミカンは食味良好と安値で好調、リンゴとイチゴは好不調が分かれた
- ・ 輸入果実ではバナナが好調となった

○水産

- ・ 相場安もありブリが好調であった
- ・ マグロを中心に刺身や刺身用サクが好調であった
- ・ エビやカニ類が好調となったほか、鍋物商材としてタラが好調であった
- ・ 塩干や魚卵、数の子が好調であった

○畜産

- ・ 牛肉、豚肉、鶏肉、挽肉の精肉全てが好調であった
- ・ 料理用途では気温の低下もあり、しゃぶしゃぶ肉が好調であった

○惣菜

- ・ 握り寿司は月間を通し概ね好調であった
- ・ 弁当や肉惣菜等では新商品を作り好調であったとのコメントが見られた
- ・ 揚物類は好不調が分かれ、バラ販売の中止を不調要因とするコメントが見られた

○日配食品、加工食品

- ・ 気温の低下もあり和日配のうち特にチルド麺や豆腐、練り製品が好調であった
- ・ デザートやアイスクリーム、冷凍食品が好調であった
- ・ 基礎調味料やインスタント麺、パスタが好調であった一方、飲料が不調であった
- ・ 感染拡大による巣ごもりで定番商品の動きが良いとのコメントが見られた

○「お歳暮商戦」の動向について

- ・ 月半ば過ぎまでは帰省できない人の送り需要があり、地酒や地域産品などが好調であった
- ・ 店頭持ち帰りギフトは帰省減少により、法人ギフトは取りやめなどにより不調となった

○「クリスマス商戦」の動向について

- ・ コロナ禍により在宅ニーズが高まり、ケーキは予約販売、当日販売ともに好調であった
- ・ ローストレッグやフライドチキン、オードブルなどの惣菜が好調であった
- ・ 人気キャラクター効果により、シャンメリーや一部菓子が好調であった
- ・ 24日のクリスマスイブが木曜日、25日のクリスマスが金曜日という曜日周りのため、25日が好調となった

○「歳末商戦」の動向について

- ・ おせちは予約販売、店頭販売ともに好調であった
- ・ 手作りおせち商材では、練り製品や佃煮を早期展開し、好調であった
- ・ 年越しそば商材については、そば、天ぷらともに好調であった
- ・ 鏡餅や生餅が好調であった
- ・ コロナ禍による帰省や集まりの自粛により、寿司や刺身などの大型パックは不調であったとのコメントが見られた
- ・ 年末に大寒波の到来や大雪予報があった地域では、前倒しでの購入傾向が見受けられた